

2013年
12/7(土)

13:00~16:00 (12:30受付)

和知ふれあいセンター

〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄花ノ木1-4

森・里・海の対話



森と生きる人々へのメッセージ

13:00 開会挨拶

13:10 講演①「森と生きる人びとの活動と森林生態系」

松山 周平 京都大学フィールド科学教育研究センター

13:50 講演②「森と生きる人びとの意識」

吉岡 崇仁 京都大学フィールド科学教育研究センター

14:30 休憩 [ポスター・パネル展示]

15:00 講演③「森と生きる人びとを育てる」

只木 良也 京都府立林業大学校

15:40 総合討論

16:00 閉会挨拶

参加費
無料

定員
150名

【事前申込み不要・先着順】

■ 開催趣旨 ■

森を大切にすることは、川や海的环境を保全するために重要です。由良川市民講座では、このことが何度も強調されてきました。森はどのように大切にすればいいのでしょうか。そして、その担い手は？

今回の由良川市民講座では、森とともに生きる人びとへのメッセージとして、由良川上流の芦生の森で今何が起きているのか、また、森と人との関係はどうなっているのか、これから森と関わっていく人びとをどう育てればいいのかについて、皆さんと考えたいと思います。

「由良川」や「里山」をキーワードに活動するNPO団体のパネル展示を同時開催

問い合わせ先

京都大学フィールド科学教育研究センター

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

TEL: 075-753-6421

Eメール: proshien@kais.kyoto-u.ac.jp



◆主催 京都大学フィールド科学教育研究センター / 京都府

◆助成 公益財団法人 日本財団

◆後援 福知山市 / 舞鶴市 / 綾部市 / 南丹市 / 京丹波町 / 国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所

◆協力 NPO法人 エコロジー・カフェ / 公益社団法人 京都モデルフォレスト協会



開催趣旨

森を大切にすることは、川や海の環境を保全するために重要です。由良川市民講座では、このことが何度も強調されてきました。森はどのように大切にすればいいのでしょうか。そして、その担い手は？

森を所有する人、森から収入を得ている人、森の近くに住み毎日森を見て暮らしている人、そして、木材・食料・水などの資源やリクレーションの機会を森から得て暮らしている人など、森と人との関係はさまざまです。

今回の由良川市民講座では、これら森とともに生きる人びとへのメッセージとして、由良川上流の芦生の森で何が起きているのか、また、森と人との関係はどうなっているのか、これから森と関わっていく人びとをどう育てればいいのかについて、皆さんと考えたいと思います。

この講座は、京都大学地域連携講座(日本財団助成)の一貫として開催されます。

講演者紹介



松山 周平 (まつやま しゅうへい)

京都大学フィールド科学教育研究センター / 特定研究員

2009年に京都大学大学院農学研究科博士後期課程単位取得退学。農学博士。大阪市立大学理学部研究員ののち、2011年より現職。

専門は、植物と植物の周辺の生物の生態学であり、樹木の開花の年変動や送粉昆虫についての研究を行った。大阪市立大学では雑種タンポポの遺伝子型の地域比較研究を行い、マレーシアの熱帯雨林のフタバガキ科樹木の個体群動態に関する研究にも携わった。京都大学フィールド研では、間伐やシカ食害の排除が、植生や土壌細菌に及ぼす影響を研究している。



吉岡 崇仁 (よしおか たかひと)

京都大学フィールド科学教育研究センター / 教授、センター長

1983年に名古屋大学大学院理学系研究科博士課程単位取得退学。理学博士。信州大学理学部助手、名古屋大学大気水圏科学研究所助手、総合地球環境学研究所助教授をへて、2007年より現職。

専門は、生物地球化学で、湖沼や森林集水域における物質循環の研究を主とし、炭素・窒素安定同位体組成分析による食物連鎖、物質循環の研究も行った。また、総合地球環境学研究所では、流域環境に関する環境意識に関する研究プロジェクトを実施し、以後、自然科学と社会科学の融合研究を続け、京都大学フィールド研では、森里海連環学に関わる教育研究に携わっている。2013年よりセンター長。



只木 良也 (ただき よしや)

京都府立林業大学校 / 校長

京都府出身。1961年京都大学大学院農学研究科を修了後、信州大学理学部、名古屋大学農学部で教授として教鞭。造林学、森林生態学の分野で我が国を代表する学者の一人。農学博士。

現在、名古屋大学名誉教授、国民森林会議会長、NPO自然と緑・自然大学会長。2012年4月から京都府立林業大学校校長。主な職歴は、1989-1990年：信州大学理学部教授、1991-1996年：名古屋大学農学部教授、1997-2006年：ブレック研究所生態研究センター長。

主要著書に、『森林環境科学』、『ことわざの生態学』、『森と人間の文化史』他。